

北海道浮魚ニュース

令和3(2021)年度9号

2021年7月30日

道総研 函館水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第2回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

7月30日、第2回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので概要をお知らせします。今回は日本海全域を対象とした漁期後半(8月～12月)の予報です。

なお、この予報は水産研究・教育機構と日本海側道府県水産研究機関が参画し、国立研究開発法人 水産研究・教育機構がとりまとめを行いました。詳細は以下のホームページからご覧になれます。

水産研究・教育機構 (<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>)

「我が国周辺の水産資源の現状を知るために」 (<http://abchan.fra.go.jp/>)

今後の見通し (2021年8月～12月)

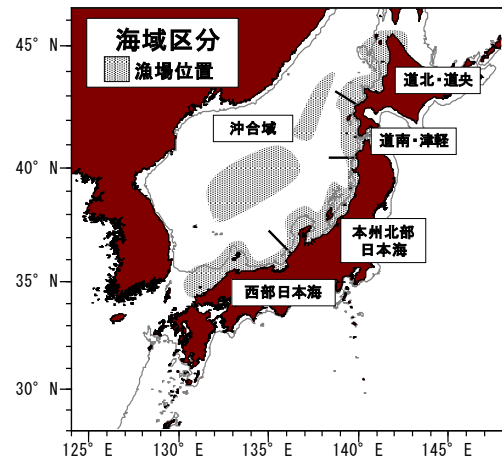
対象魚種：スルメイカ

対象海域：日本海(道北・道央、道南・津軽、本州北部日本海、西部日本海、沖合域)

対象漁業：主にいか釣り漁業・小型いか釣り漁業

対象魚群：秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む

- ・今期の日本海全体の来遊量は前年および近年平均を下回る。
- ・道央・道北では前年および近年平均を下回る。
- ・道南・津軽では前年および近年平均を下回る。
- ・本州北部日本海では8月まで漁場が形成されるが、前年および近年平均を下回る。
- ・西部日本海では8月まで漁場が形成され、前年および近年平均並。
- ・沖合域では前年および近年平均を下回る。漁場は北海道西沖では形成されにくく、大和堆周辺海域では形成されても安定しない。



※近年は最近5年間(2016～2020年)、前年は2020年を示す。

- ・6月中旬～7月上旬に実施された日本海スルメイカ漁場一斉調査(函館水試調査分は浮魚ニュース第7号を参照)では日本海全体の来遊量の目安となる全調査点の平均CPUE(釣機1台1時間あたりの採取尾数)は5.43尾となり、前年(14.32尾)および近年平均(10.98尾)を下回り、また近年の中でも低かった2019年(7.40尾)も下回りました。
- ・日本海スルメイカ漁場一斉調査での外套背長のモードは18～19cmにあり、前年より大きく、近年平均程度でした。
- ・日本海全体の漁獲量は4月に前年並でしたが、5月以降前年および近年平均を下回りました。道北・道央では6月に漁獲が始まり、漁獲量は前年および近年平均を下回りました。道南・津軽での6月の漁獲量は前年および近年平均を下回りました。

(函館水産試験場調査研究部、TEL：0138-83-2893、FAX：0138-83-2849)